

金沢・敦賀間の  
レールが1本に!

来春完成・開業予定!

## 北陸新幹線(金沢・敦賀間) レール締結式を開催

5月27日、芦原温泉駅にて北陸新幹線(金沢・敦賀間)レール締結式が執り行われました。

北陸新幹線(金沢・敦賀間)は石川県5市町、福井県7市町を経由する工事延長約125kmの区間です。2012年6月に工事実施計画が認可(福井駅での工事認可は2005年4月)され、同月に工事を着手し、2024年春の完成・開業を予定しています。

北陸新幹線は1997年10月に高崎・長野間が、2015年3月に長野・金沢間が先行開業しており、総延長は約345kmとなっています。

今回予定している金沢・敦賀間の開業により、高崎からの総延長は約470km、東京からは約580kmとなります。

金沢・敦賀間におけるレール敷設工事は2018年11月に石川県の白山総合車両所付近から開始され、125kmに及ぶレールは約5年の歳月を経てようやく締結されました。

式典では、地元の小学生やあわら温泉女将の会の皆さんによるくす玉開披のほか、レール締結では、紅白に飾られたレンチで「エイッ、エイッ、エイッ」の掛け声とともにボルトを締め、レールを固定しました。

レール締結後には、「祝 北陸新幹線 金沢・敦賀間 レール締結式」と書かれたマークを付けたモーターカーが発進し、来場者の大きな拍手に包まれながら1本につながったレールの上を走行しました。

今後は、新幹線が安全に走行できるかを点検する監査・検査に入ります。引き続き安全第一で工事を進めてまいります。

①1本につながったレールを走行するモーターカー ②藤田理事長による主催者挨拶 ③テープカットの様子 ④くす玉開披の様子 ⑤北陸新幹線(金沢・敦賀間)各駅の紹介パネルを設置 ⑥レール締結の様子

